

科学者会議 継続委員会 7月3日 (1962年)

名取書店 第1会議室 R.M. 5.00 - 7.30

出席者

坂田 朝永 湯川 豊田 小川(浩) 野上 小沼 安野 山田 大槻

議題

1. 人数をどうするか
2. 人選の具体化
3. テーマの確認
4. 勉強会の企画をどうするか
5. 事務的な事から (会計 etc.)

議事内容

1. 北軽会議 についての了解事項

- a) 今回の会議のテーマは "全面軍縮とアジア問題" とする。
- b) 科学者会議 第2回とはせず、1.5回目の夏の学校と号する。
- c) 「第1回では遊覧バスで全般的に見学したので、今回は問題をしぼり、深く勉強する」と性格規定とする。
- d) 主として若い人に reporter になつて頂き、長老級が勉強する形とする。
- e) 主な目的の1つとして、湯川のロンドンでの参考となる討論を行う。ロンドン会議へのメッセージを最終的にまとめる。
- f) 会議は非公開で行い、声明も出さない。
- g) 記者会見はおこなわない。

2. 会場設営関係の報告

谷川と相談の上 以下のようにしている。

日時 : 8月9日夜 10日, 11日, 12日 13日迄

場所 : 会場 — 北軽観光ホテル別館 鷹山荘 (2.30畳の大広間)

宿舎 — 観光ホテル (長老級)

谷川

野上(茂)

〃(弥)

(若年が今宿)

参加者の出欠は 7月22日, 豊田が 札幌に出かける以前に確認する。
現在の capacity は

ホテル	10人	
分宿	7人	
駅前旅館	1~2人	の予定。

3. テーマ と 討論内容

テーマは大きく分けて次の2つとする。

I. 軍縮問題

approachの仕方について勉強の分担を決める。

- i) 東京: game, sampling, RAND cooperation etc.
- ii) 京都: "The Voice of Dolphins" 批判
- iii) 和歌山: Blackett 論文

II. アジア問題

野上グループに委任するが, アジアの非核武装 への観念から中
身の問題と考へて欲しい, と comment あり. その他報告に欲しい
ものに 中身の科学の現状, 科学者の社会的責任, 中身の協力関係 etc.

なお special topics として次の問題についての報告を要す。

- 超高空核爆発の問題: 小川(若)
- 地下爆発の探知: 小川(若), 小沼

以上適宜 study group を作って, 適当な方法で連絡し, 勉強する。
今回は 経済問題は 主要テーマから除外す。

4. 人選

A. 出席予定者

坂田 朝永 湯川
貝塚 茂樹, 上原 淳道, 田中 輝次郎, 宮沢 俊義, 茅 城司, 我妻 栄
福島 孝一, 田島 英三, 谷川 徹三, 三宅 恭雄
野上, 豊田, 小川(若), 小沼, 安野, 大槻, 高木, 山田, 小川(修), (22名)

B. 原則として参加者とこれ以上ふやさないが、増える場合にも
継続委員会が 宿舎の世話となる。

5. 招待の事務

正式には 継続委が 書面で行う。ただし 事前に 次のようなルート
で informal な諒解を得ておく。

貝塚 ← 湯川
上原(博) ← 野上
宮沢 } ← 豊田
田中
茅, 我妻, 谷川, 三宅 ← 朝永
田島 ← 豊田 or 小川(岩)
福島 ← 野上

A. 準備会は 今夜は特に用はないが、70プログラム編成 (speaker,
座長の決定) ときめる会が 6月17日 土曜。

B. その機会がないときは、勉強会の前日 8月9日 夕方にその
作業を行う。

6. 事務的なことから

A. 会場設営責任は 豊田-谷川 で 野上が手伝う

B. 京都会議の後始末

(i) 雑誌 "世界" は 終了。

(ii) "新書" は 科学者京都会議の 議事録としてではなく、ラッセル-
アインシュタイン精神の 具体化の 厂文 としてにする。その中の
京都会議の 取り扱いはどうするか、又 B.C兵器関係はどうか
考えて欲しい。

C. 会計責任は 外野系 小川(岩) に 12頂く。

D. 会計 - 京都会議に ついては 既に決済済み。今回は 10万円を 使った
定額の部分は 各自負担とする。予め 諒解を得ておく 必要が
ある。

E. この議事録は 事務局全部、継続委員には 確認の意味で 配布する。

— 以上 —

7 湯川
10 3 2

計 orig. 2, copy 14.

7月 5日 (1962)

① 田中
② 貝塚 上原(時)
③ 谷川 宮沢 兼 我妻 田島 三宅 福馬

返信用封筒は 朝永社宅
武蔵野市境南町3-763 様

さる 5月の科学者京都会議での討論に基づいて、継続
委員会は次のような問題にしばって、さやかな勉強会をでき
るだけ早く開くことと決定いたしました。

1. 軍縮問題
2. アジア問題
3. 討 論

そこで

(i) 時 : 8月 10, 11, 12, 13日

(ii) 所 : 群馬縣 吾妻郡 北軽井沢 北軽観光ホテル
で合宿し、private な集りともろたい と思ひます。この会は
第2回科学者会議とせず、声明も、記者会見、会の広告等 一切
行なわず、もっぱら勉強を目的とします。

貴殿には特に 御報告をお願ひしたいと思ひます。
御多忙中恐縮ですが、御参加下さるようお願ひします。宿舎は
上記ホテルで1泊(お食付)2000円程度で、折り返し御返事を戴い
てこちらで予約しておきます。ホテルにあまり余裕があり
ませんので、現地近くに別荘等お持ちの方は場合によっては
こちらで御宿泊願うことになるかも知れぬことをお含みおき
下さい。

なお、この会も前回のよりにすべて自弁をたてまえとして

おります。何れ 継続委員 あるいは 事務局員が 拜眉の上
詳しく 御説明 申し上げますが、とりあえず 書面をもって
御出席 お願いする次第です。

敬 具

科学者会議 継続委員会

署名 朝永 振一郎

東京教育大学



湯川先生

先日の議事録です。必要事項だけ抜粋
してあります。どうぞ宜しく。

7月7日

教大 安野 愈

追伸 1. 貝塚先生に宜しくお伝え下さい。招待状は
既に発送済みです。

2. 招待状のcopyも同封しました。

京都市左京区
湯川 秀 樹 謙
京都大学基礎物理学研究所
追分所

東京都文京区大塚窪町二四

東京教育大學

科学委員会議継続委員会

朝永振一郎

